

LST のクラスターモジュール “DRAGON”

大気中で発生するチェレンコフ光を大口径望遠鏡の鏡で反射させ、光の信号を読み取るカメラ部分を構成するクラスターモジュール。東京大学宇宙線研究所などのCTA-Japanグループが設計と製作を担当しました。光量子効率光電子増倍管7本、高圧回路、プリアンプ、スロー制御回路、超高速DRS4波形読み出し回路、トリガーなどの部品から成り、このモジュール256個で大口径望遠鏡一基分のカメラとなります。

